第 6 回石川町振興計画審議会会議録

日 時 平成 20 年 9 月 12 日 午後 7 時から 9 時 40 分まで
 場 所 本庁舎 第一会議室
 出席委員 西川会長、渡辺副会長、相楽委員、水野委員、野崎委員、吉田委員、瀬谷委員、
 深谷委員、添田好史委員、添田一文委員、斎藤委員、山口委員、添田京子委員、
 鈴木委員
 町出席者 伊藤総務課長、三瓶産業振興課長、瀬谷企画調整課長、添田企画係長、佐川主査

進行 企画課長

発言者	内 容
西川会長 企画調整課長	<p>始めに、数値目標の設定について企画調整課長より説明願います。</p> <p>数値目標については、現在各課において内容を精査、調整中ですので、10月上旬の審議会において具体的な数値を出したいと考えておりますので、もう少し時間をいただきたい。</p>
西川会長	<p>今回は 2 つの基本目標について審議しますので、基本目標 I 「にぎわいと活気のあふれるまち」について説明を 30 分、質疑等を 30 分の 1 時間、基本目標 VI 「町民の信頼に応えるまち」について説明を 30 分、質疑等 30 分の 1 時間、現在 7 時ですので、午後 9 時には審議会を終える予定で行いますので、ご協力を願います。</p> <p>それでは、まず始めに基本目標 I 「にぎわいと活気のあふれるまち」について説明を求めます。</p>
産業振興課長	<p>詳細に説明する。</p>
西川会長	<p>それでは、今の説明について質疑、意見等をお願いします。</p>
深谷委員	<p>全体的にもっと具体的に記載できないのか。石川の農業の中核とは何なのか。この計画により農業生産高をどのように設定しているのか。遊休農地の活用についてどのように考えているのか。この 3 点について町の考えをお聞きしたい。</p>
西川会長	<p>もっとわかりやすい表現はできないのか。町民に配布しても理解できないのではないのか。</p>
斉藤委員	<p>石川町の特産品はこれだからがんばって生産していくというものを入れたほうが良いのではないのか。</p>
鈴木委員	<p>具体策がないと分かりにくい。10 月から一般町民が閲覧できるというが、現実性のある具体策を入れていかないと文章だけの計画になってしまうのではないのか。</p>
西川会長	<p>私たちは委員として関わっているのである程度理解できるが、一般町民はどうなのか。</p>
深谷委員	<p>農業振興の中核は何と考えているのか。沢田、野木沢など地域性もあるが、米・野菜など何を生産し振興を図るのか。</p>
産振課長	<p>園芸作物での振興を考えている。中山間地では畜産と合わせた複合経営で振興を考えている。</p>
深谷委員	<p>そういう考えがあるなら、計画に記載したほうが良いのではないのか。</p> <p>また J A はどう考えているのか。</p>

発言者	内 容
水野委員	<p>農業の詳細な計画は農業振興計画（アグリプラン）に具体的に記載してある。</p> <p>この基本計画は方針という視点で記載されている。環境にやさしい農業といっても具体的にどういうものか分からないし、園芸作物といっても、どういう品目を選定するのも分からない。</p> <p>沢田のリンゴ部会は、西郷まで行ってリンゴジュースに加工している。町内に加工施設の要望も出しており、計画に記載してほしい。</p>
添田好史委員	<p>特に、遊休農地の活用が必要ではないか。兼業への移行で農業が崩壊してきている。新規就農より離農を心配している。シルバー人材の活用など、もっと農業を立体的に考え、まとめ直すことはできないのか。新規就農ばかり考えるのではなく、離農をどう減らしていくのかも必要ではないか。</p>
西川会長 深谷委員 産業振興課長	<p>遊休農地の活用を数値目標に入れても良いのではないかと。</p> <p>遊休農地でも、活用できるものとできないものがあると思うが、調査はしているのか。</p> <p>現在、農業委員会で農業委員の方に細かい調査をしてもらっている。活用についても、3段階に分けて調査を行っている。</p>
水野委員	<p>農業は国の政策に左右される部分が多い。安い農産物を海外から輸入すれば良いという政策から農業が衰退してきたが、現在の原油高や食糧高などでその考えが頓挫した。自給率50%を目指すといってもすぐに転換するには調整が必要である。</p> <p>J Aでも地域就農の考えの中、営農講座を年10回開講し、17名の受講者がいる。</p>
西川会長 水野委員	<p>営農講座の受講者は、農業をやっていない人なのか。</p> <p>会社を定年退職した人が多い。</p>
山口委員	<p>石川町はどの産業に重点をおくのか。茂木町とか他の町村にはこれに取り組むというのを前面に出しているが、石川町にはそういうものがないと思う。石川町の農業はこういうものを目指すか数値目標を設定したほうが良いのではないかと。そうしないとこの計画書を見ても、町民は分からない。</p>
添田一文委員	<p>専業に近い形で4年間やったが、米の価格も下落しているし、牛の価格も今年の4月から下落している。私は今の農業に限界を感じている。兼業化をしなければ生き残れない。町の計画を見ても農業に意欲を持ってない。収益性の高い品目を生産しないと生活が成り立たない。園芸作物の振興、米作と畜産の複合といっても、力のある農家や退職した人でないとできない。その他の農家は誰かがサラリーマンをして外貨を稼がないと生活していけない。</p>
西川会長 添田一文委員	<p>退職して農業をやる人と、子どもを抱えて農業をやる人では立場が違うと思う。</p> <p>これをやったら食べていけるといえるものがあるならば良いのだが。</p>
西川会長 渡辺委員	<p>農産物を消費している立場から何か意見はありますか。</p> <p>どういうものを生産しているかの情報がない。多少割高でも地産地消しても良いと考えているが、どの季節に何があるのかの情報がない。</p>

発言者	内 容
深谷委員	給食ではどのくらい使っているのか。
渡辺委員	石川牛といってもどこで売っているのか分からない。
斉藤委員	石川牛は繁殖として使っている。
鈴木委員	東京で使っている食材もある。年をとっても山菜を取って売れるようなシステムを作
	ってはどうか。石川の梅漬けはおいしいが売っているところがない。
	J Aで以前売っていた石川牛を友達に送ったら神戸牛よりおいしかったと言われた。
	的をしぼって具体的に目玉となる商品を考えてはどうか。
西川会長	時間も限られているので、次に商業に関して意見はありませんか。
相楽委員	もっと具体的に私も思う。現在、長久保と双里に商業施設ができて、市街地が空洞
	化している。今後いわき石川バイパスができれば、益々空洞化が進むだろう。
	①地域商業の均衡ある発展の誘導の中に、商店街と郊外の中小小売店舗の機能分担と連
	携とあるが、具体的にどうすればよいのか分からない。文言だけで終わってしまうので
	はないか。
	現在、高齢者が増えているので、高齢者に的を絞った商業を目指し、武道館の跡地を
	利用して何かできないか。商店が大型店に太刀打ちできなくてどんどんやめている。空
	き店舗の活用への税制の優遇など具体的に施策を出して欲しい。
産業振興課長	高齢者に的を絞った商業は私も感じている。
深谷委員	各地域の商店をどうするかも問題である。町ではどう考えているのか。
産業振興課長	今後検討していきたい。
企画課長	さくら商品券を使って商店の活性化を考え、敬老会に商品券を配ろうとしたが、すべ
	ての商店が加盟している訳ではないという理由でやめた経過もある。地域の高齢者から
	は商品券よりもお金でという声があることも事実で、地域内流通の面からも考え方を変
	える必要がある。
深谷委員	地域の人が大型店に行く一番の要因は何なのだろうか。
相楽委員	昔は、農繁期の際は地域の人々は近くで買い物をしたが、今は家族の誰かが勤めに出
	ている時代である。会社の帰りに大型店で買い物をして来るので、地元の商店で買い物を
	する必要がなくなった。商店は人と人のつながりの場でもあるが大型店にはない。行政
	で何かフォローをしてほしい。
野崎委員	大型店へ行けば何でも揃う。地元で買えるものは買っているが、新鮮なものはあまり
	ないので、どうしても大型店へ行ってしまう。人と人の和が生まれるのが地元商店の良
	いところなので、買い物をするとポイントがたまり、税金にも使えるという町がある
	というので、町も考えてはどうか。
山口委員	大型店に比べると地元の商店はサービスが良くないと思う。地域の商店も企業努力が
	必要ではないか。商工会でも教育を考えてはどうか。地域の商店でも頑張っている
	ところもある。
添田京子委員	私も地元で買えるものは買っているが、若い人は駐車場が広く、1カ所で買い物が
	できる大型店へ行ってしまう。

発言者	内 容
吉田委員	<p>大きな店に行けば買いたいものがすべて買える。</p>
添田好史委員	<p>行商をしてくれる人がいると食材などが買えるのが魅力。以前は何人もいたが、これから高齢者が増えてくると必要になるのではないかと。</p>
添田好史委員	<p>商品を買う時に、店員に付きまとわれたくないから大型店へ行く。ライフスタイル商品は大型店と競合しない。品揃えが大量にないといけない商品には、付加価値をどう付けていくかが大切だと思う。</p>
添田好史委員	<p>西会津町も茂木町も他の町に自慢できるものがあった。石川町にはそれがないのではないかと。</p>
深谷委員	<p>町内の企業は正社員と派遣社員比率はどのくらいなのか。町として正社員を採用するよう働きかける考えはないのか。</p>
産業振興課長	<p>企業に働きかけをしていきたい。</p>
深谷委員	<p>東京いわき石川会の川島会長は、福島空港ができて町として何も手をつけていないといているようなのか。</p>
企画課長	<p>やれることはやっている。中学校の修学旅行への利用や県立高校の沖縄との交流。企業誘致の活動も現在は関西まで行ってやっている。結果が出せなかったためそのように思われているのだと思う。観光にしても一町村だけで考えるのではなく、県中管内の市町村で広域で行っている。</p>
深谷委員	<p>こういう受け取り方をされないようにきっちりやってほしい。</p>
山口委員	<p>フライト農業はどうだったのか。</p>
水野委員	<p>目玉商品の開発ができなかった。</p>
鈴木委員	<p>空き店舗には駐車場がない。お祭りをメインにしようとしても、御神輿を担ぐ人がいない。町として、観光のどこに重点をおくのか。大きな目標が具体的に記載されていないと文章ばかりでどこに力を入れているのか分からない。</p>
企画調整課長	<p>5総でプロジェクトを5つ進めようと考えている。茂木モデルとも言える大きな直売所「道の駅」をつくり、商品も競争に勝つために有機農法で良い堆肥を使って作る。これらを切り口として高齢者の生きがいづくりにも活かしていきたいと考えている。現在、事業の詳細を詰めている段階であるができるだけ具体化したいと思う。</p>
斉藤委員	<p>道の駅でも並大抵では太刀打ちできない。直売する場所があるのはいいことだが、農産物はいつ何を作るのかも大切である。</p>
山口委員	<p>かつての農業は生産が第一であった。今は営業・販売が大事だ。東京へトラックに農産物を積んで売りに行けば絶対売れる。しかし、それが継続できるかが難しいところだ。</p>
西川会長	<p>次に基本目標6「町民の信頼に応えるまち」の説明を簡潔に願います。</p>
企画調整課長	<p>担当部分を詳細に説明する。</p>
総務課長	<p>担当部分を詳細に説明する。</p>
水野委員	<p>納税組合の育成と記載があるが、解散している組合も多く、実際は農協が代行している状況である。町はどう考えているのか。</p>

発言者	内 容
総務課長	個人情報保護の問題もあり解散する組合もある。奨励金を出してはいるが、口座振替が実態の組合もある。いろいろな問題もあるが、徴収率を上げるためにも組合を育成していきたい。
山口委員 総務課長	ボランティアセンターを社協につくっているが、活動はどうなのか。 実際、ボランティア団体と連携しても、すべてのボランティアの活動目的が同じではないので、ボランティアセンターとして機能できるのか難しい面もある。
山口委員 総務課長 深谷委員	ボランティアセンターの役割について町民に情報がこない。 平成19年度に社協にできた際に、社協だよりの中に記載し周知をした。 広報いしかわに高齢者に配慮した高齢者のページをつくるなど、広報が高齢者にも読めるように工夫したらよいと思う。また、議会関係の日程は町民に知らせないのか。
総務課長	告示行為を行っている。
深谷委員	日程を前もって知りたいのだが。
総務課長	議会日程を広報無線でお知らせすることは可能である。
深谷委員	区長の任期が1年では短いので2年にできないのか。
総務課長	地域が人選し順番などで区長を決めていると聞く。行政区によっては任期が長い区長もいる。
深谷委員	町で規定はできないのか。
総務課長	慣例などもあり行政はそこまで立ち入ることはできないので、地域の中で決めてほしい。
深谷委員	住民参加型ミニ公募債の利回りはどの位か。
総務課長	既に実施している自治体の状況を見ると、市中銀行の利回りよりも少し高めに設定されている。
水野委員	ふるさと納税制度への対応は。
総務課長	「石川ふるさとまちづくり応援寄付条例」を制定し受け皿としている。
山口委員	寄付の期待はできるのか。
総務課長	もっと制度を外部に向かってPRしていきたい。寄付をいただいた方には広報いしかわを送付している。
添田好史委員	ふるさと納税で寄付を受けた財源は何に使うのか。
総務課長	県外の人から石川町を応援しやすいテーマである桜の整備やスポーツの振興などに使う考えでいる。
添田好史委員	ある程度の金額が集まらないと事業ができないのでは。
総務課長	町の事業と目的が合えば活用できると考えているので問題はない。
鈴木委員	町を出ている若者に町の情報を発信してはどうか。
山口委員	ミクシィなどでふるさとを紹介している若者もいる。
西川会長	町のホームページにも若者の声があっても良いと思う。
相楽委員	平田や古殿は石川と合併したくないといっているようだが、町村合併の話はないのか。
企画調整課長	石川管内6町村には人事交流がない。昔はソフトボールやバレーボールの大会があり職員の交流もあった。今、そういう職員の交流も必要ではないかと思う。

発言者	内 容
添田係長 深谷委員	<p>国では現在道州制が議論されている。合併は国の動向を見極める必要がある。</p> <p>浅川町の町民がどこも合併したいというと、一番が棚倉町、二番が白河市、三番目が石川町というが、町はこの現状をどう受け止めているのか。</p>
企画調整課長	<p>浅川でも地域による。棚倉に近い地域は棚倉、白河に近い地域は白河、石川に近い地域が石川とっていると聞く。以前、石川町は石川郡の政治や商業圏の中心であり、求心力があったが、現在は他の町村と同じレベルに落ちているということだと思う。</p>
深谷委員	<p>石川町は郡の中心だという意識づくりも必要だと思う。</p>
渡辺委員	<p>観光の振興というが進め方が一方的だと思う。町は現場の声も聞かずに一方的に観光行政をやってきた。官民一体となって情報交換をし、観光の振興を進めるべきでないのか。</p>
瀬谷委員	<p>人が集まり、人口が減らないよう企業誘致を進めてほしい。長い目で見て、10年間は土地を無償で貸すとか企業誘致をして賑わいのある町にしてほしい。</p>
西川会長	<p>玉川に直売所を出したようだがどうか。</p>
瀬谷委員	<p>直売所の経営は難しい。道の駅をつくっても集客ができなければ経営は成り立たない。道の駅で温泉に入れるとか集客のできる工夫をしなければうまくいかないと思う。</p>
鈴木委員	<p>石川の会社で何を作っているのか分からない。町が企業を育てるためにも、町民の皆に知ってもらうのも必要ではないか。</p>
西川会長	<p>時間もかなり過ぎてしまいましたが、有意義な議論ができたと思います。以上で審議会を終了します。</p> <p>午後9時40分</p>